

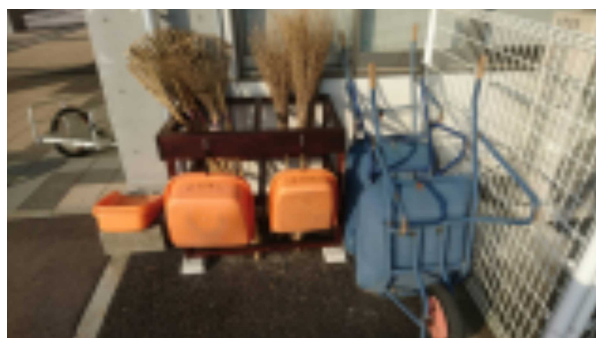
美咲野ベースからの贈り物

美咲野小は、「あいさつの日本一」と「花いっぱい学校」を目指していること、しつこいほどにお伝えしていますが、その目標に向けて保護者や地域の方々も協力していただいていること、いつも大変嬉しく思っています。今回は、美咲野ベースの方々に作ってもらったものの紹介です。

花の植え替えやいろんな作業をするとき、道具置き場が定まっていなかったことがずっと気になっていました。以前から、中庭のベランダに置きっ放しの松葉かき（くまで）、図書室北側にしかないほうき立て。どうにかならないものかと思っていて「ここにこんなのがあったらなあ・・・」といろんな人に話しておりました。それを聞いた美咲野ベースの方々がこのようなものを10月の秋休みの時に、製作して下さったのです。しかも、材料代は、美咲野夏祭りで出店をしたときの収益で！



中庭のほうき立て



職員室南側の道具置き場

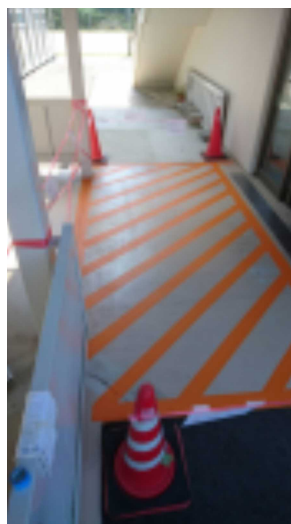
道具箱のからいもくんの絵は、中村里美さん（わっしょい祭りでも毎年ブースをお願いしています）によるステンシルです。卒業生の東くんも一緒に描いてくれました。多くの方々のおかげで、便利になっただけでなく、とっても華やかになりました。そして学校全体が元気になります。



児童玄関横の道具入れ

もうひとつ、おねだりしたのが、右下の写真。本校舎からプレハブ校舎や体育館に行く通路です。この通路は学校北側から南側へ行くとても重要な通路なのですが、その使い勝手がずっと気になっていた場所です。なぜって「ここは土足通行可にしないととても不便な場所」「一輪車を通そうにも段差があっていちいち持ち上げなければ、通れない場所」だったからです。地震の補修工事の際、何度も教委と業者に掛け合って、「ここをスロープにしてください！」と頼んでスロープにしてもらいました。（ホントはもっと違うように頼んだのですが、設計上ここまでできないとのことでした。）次は、土足可ということが誰にでも分かる印が必要。職員作業で黄色いラインを引き直そうか・・・等も考えましたが、実現には至らず。という事情をずっと話していたら、美咲野ベースの方々が作業してくれました。まるでプロ施工のような出来映え！さっすが！

学校のために地域の皆さんがこんな協力をして下さるって、美咲野小はなんて幸せな学校なのでしょう。地域の学校として、私たち職員も子どもたちのために頑張らなくちゃ！とエールを贈られた気分です。本当にありがとうございました。



本校舎から
プレハブへの
通路

美咲野小だより

11月

NO.10
H30. 11. 16
大津町立
美咲野小学校
文責：草場ルミ子

美咲野小三年目となり、子どもたちの顔も随分覚ええました。毎朝、元気にあいさつ

してくる子、休み時間になると、外遊びのためのボールを職員室に借りに来る子など様々。掃除の時間、一緒に草取りなどをすると、教室や集会などでは見えない姿が垣間見えることもあります。ちよつとつむぎがちだつた子が、胸を張って歩く姿に、「元氣になったなあ」と嬉しくなるし、「あの子、最近元氣がないなあ」と心配になったり。担任の先生や学年主任はもちろんのこと、養護の林先生や松本教頭、富永主幹、教務の横原先生たちと、「あの子大丈夫かな？」「○○ちゃん、□□の時こんなことして張ってくれたよ」など、たくさんのお話を毎日しています。児童数は七六八名と多いですが、大事な大事な一人一人です。

